

申2号
業務交渉

補足項目を提出!!①

「横浜支社における要員問題に関する JR 東労組の考え方」に基づく

申2号第2項補足項目（その1）と会社回答

1. 安全を第一に、列車を正常に運行するための要員確保と社員配置のあり方について原則的な考え方を明らかにすること。また、業務に従事する組合員の負担軽減、本来業務に集中した業務体制を確立するための適正要員を確保すること。

会社 安全は当社にとって最大の使命であり、業務の安定的な運営のために業務量に応じた必要な要員を確保する。なお、要員配置については、将来必要な所要及び、転勤・転職等の要員変動を想定の上、行っているところである。

2. 横浜支社における車掌職の逼迫した要員需給を作り出した原因とその背後要因を具体的に明らかにすること。

会社 現在、第二の大量退職期を迎え、従前よりも年度あたりの退職者数が増加していること、特に横浜支社においては東日本大震災直後の一時的な配属数減等もあり、ダイヤ改正時での効率的な行路作成や他区所への業務移管をはじめとした業務量調整、更には今年度の第一回新規車掌養成数の調整や人事異動等を行ってきたが、年間の一部の期間において現在員が業務量を下回ったところもある。

3. 会社の責任として行うべき要員確保と配置の不備による逼迫した需給状況を鑑み、安全を第一に輸送を確保している組合員に対する認識を明らかにすること。

会社 昨年から一部区所において、現在員が一時的に業務量を下回る状況が発生し、本年度も一部区所で一時的に同様な状況が発生する見込みである。このような状況を受けて休日勤務が増加する中、勤務操配を工夫するなど職場全体で様々な対応をしていることについては会社として真摯に受け止めている。

4. 逼迫した需給状況の中で、現在員が標準数を下回る等の事態が生じた場合の要員確保に向けたプロセスを明らかにすること。

会社 今後数年間は定年退職者の増により、現在員が一時的に業務量を下回る時期が発生することも想定される。今後とも、効率的で生産性の高い業務執行体制を構築するため、安全の確保を前提に、様々な施策を実行していくとともに、行路の設定やそれぞれの職場における勤務制度等の利用状況を踏まえた要員配置を行っていくなど、区所の規模等の特性を踏まえて厳しい需給状況に対応していく。

次号につづく

会社は車掌職の逼迫した要員需給を創り出した原因を明らかにし、
本来業務に集中できる職場環境を実現すべきだ!!